

(様式第1)

内部での資料整理として発番などがあれば書いていただき、特になければそのままご提出ください。

第 号

令和2年 12月 10日

株式会社オーエムシー  
代表取締役 力武 寛 殿

## 記入例

申請者 住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
氏名 山田 太郎 印

支援申請書

押印を忘れずに

地域における事業者間連携による自律的取組に係る支援について、支援規程第3条の規定に基づき、下記のとおり、申請します。

### 記

1. 取組の名称 先進技術の整備や人材確保に資する取組であること

- 1) 特定整備認証制度に向けての自動車車体整備士教育
- 2) 先端技術（エーミング作業等）の設備体験会

2. 支援対象経費支援申請額

- (1) 支援対象予定経費（上限額）  
1,000,000 円
- (2) 受けようとする支援金額  
1,000,000 円

・上限は100万(税込)  
・様式第1別紙「受けようとする支援金額」の記載額になっているかご確認ください

3. 取組の開始年月日及び完了予定年月日

- (1) 開始年月日 支援決定年月日
- (2) 完了予定年月日 令和3年 3月 1日

記載の変更は不要。

4. 取組計画書

様式第1別紙のとおり

(注) 申請書には、次の事項を記載した書面を添付すること。

- ・取組に係る全ての見積書（消費税別又は税込の記載があること。）
- ・支援決定通知書送付用返信封筒（定型封筒（長形3号）に返信先を記入、切手は不要）

(備考) 用紙は、日本産業規格A4とし、縦位置とする。

※地域における事業者間連携による自律的取組に係る支援は、OMCが国土交通省との契約において定めた支援規程第3条に基づく事業者間連携による自律的取組を行おうとする者に対して支援を実施するものです。

取組計画書

①取組の名称

先進技術の整備や人材確保に資する取組であること

- 1) 特定整備認証制度に向けての自動車車体整備士教育
- 2) 先端技術（エーミング作業等）の設備体験会（新技術への対応）

②取組の内容

セミナー・体験会の内容をできるだけ具体的に記載すること

- 1) 特定整備認証制度についての詳細説明および特定整備認証制度に向けての高度化車体整備技能講習を行う
- 2) 自動運転を支えるセンサーやカメラ、レーダーの校正を行う新しい技術としての「エーミング作業等」について、その新技術対応と体験する機会の共有を図る

③取組を実施する場所

- 1) △△△△△△△△△△△△△△
- 2) ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

・現時点で見積りを取った実施予定会場を記載  
・複数回実施の場合は全て記載  
・複数回開催の場合は、合計額を計上

④取組実施日

- 1) 令和3年2月3日
- 2) 令和3年2月4日

⑤支援対象経費、受けようとする支援金額

それぞれの見積もりを提出のこと。税込み価格を記載する。品目により概算でも可。

費目	支援対象経費	受けようとする支援金額
会場費	¥ 200,000 (税込)	¥ 1,000,000 (税込)
設営費	¥ 250,000 (税込)	
教材費	¥ 80,000 (税込)	
講師謝金	¥ 330,000 (税込)	
開催案内費	¥ 140,000 (税込)	

⑥本申請に係る連絡先

上記5項目以外の費用項目があれば、追加で記載

担当部署	担当者名	電話、FAX 及び E-mail
***	佐藤 花子	TEL : 00-1234-5678 FAX : 00-9876-5432 E-mail : ***@***.com